

「世界 HTLV デー(11 月 10 日)」制定記念講演会  
(Human T-cell Leukemia Virus ヒト T 細胞白血病ウイルス)

現在、日本では 100 万人前後、世界では 3000 万人以上の HTLV-1(ヒト T 細胞白血病ウイルス I 型)感染者がいると言われています。

見過ごされてきたウイルスとして世界でもキャンペーンが始まり、日本でも患者団体等の要望を受け、日本 HTLV-1 学会と国際レトロウイルス学会が、11 月 10 日を「世界 HTLV デー」と制定いたしました。国連 WHO の認定する「International Day」登録に向けての活動も開始しております。

この度の、11 月 10 日の「世界 HTLV デー」制定を記念し、啓発キャンペーンの一環として本学にて記念講演会を開催いたします。

関係各位にご周知いただき、多くの皆様にご参加いただけますよう、心よりお待ち申し上げます。

一般社団法人 日本 HTLV-1 学会  
理事長 渡邊 俊樹(東京大学名誉教授)

=====

日時:2018 年 11 月 10 日(土)午前 10 時~12 時  
場所:東京大学医科学研究所講堂(港区白金台4-6-1)  
最寄駅:東京メトロ南北線・都営三田線 白金台駅  
主催:一般社団法人 日本 HTLV-1 学会(<http://htlv.umin.jp/>)  
共催:NPO 法人スマイルリボン  
参加無料(事前申込不要)

講演内容:

1. 渡邊 俊樹 日本 HTLV-1 学会理事長  
「『世界 HTLV デー』制定の目的と意義について」
2. 原澤 朋史 厚生労働省結核感染症課 課長補佐  
「我が国の HTLV-1 対策と世界 HTLV デー」
3. 石母田 衆 全国 HAM 患者友の会「アトムの会」代表  
「患者・キャリアから世界 HTLV デーに期待すること」

4. 浅野 史郎 神奈川大学教授  
「ATL 患者の立場から世界 HTLV デーに期待すること」
  
5. 浜口 功 国立感染症研究所血液・安全性研究部 部長  
「我が国の HTLV-1 感染の実態と診断法開発」
  
6. 板橋 家頭夫 昭和大学医学部教授  
「HTLV-1 母子感染予防対策の現状と問題点」
  
7. 内丸 薫 東京大学大学院教授  
「我が国の HTLV-1 キャリア対策の現状」
  
8. 山野 嘉久 聖マリアンナ医科大学大学院教授  
「HTLV-1 関連難病の新たな治療戦略」
  
9. 塚崎 邦弘 埼玉医科大学国際医療センター准教授  
「ATL 治療の進歩と国際コンセンサス」

以上

問合せ先:

一般社団法人日本 HTLV-1 学会

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1

東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科 気付

TEL: 03-6409-2307

Email: tnabe@ims.u-tokyo.ac.jp

---